

磐城商工時報

發行所 磐城郡平田町二番地
 電話 二五〇
 印刷所 加納活版所
 廣告料 五銭
 訂読料 一月五銭
 郵政特種郵便物認可第三號

平十町 店頭から見た 経営振りの色々

吳服店に洋品店

平町には吳服店を始め大商店が多い、商店の景氣不景氣の推移に依つて世の中の景氣の傾向を推想することが出来、今平町に於ける十大商店を挙げて其店の特徴と経営振りとを批判する事にした、其店に依り各々の獨特の経営振りが、其特徴とすべき経営法を更に研究して一段の繁榮策を講ずることをすゝめた。

實質主義の 釜屋

釜屋では品質如何を選擇し現金仕入れといふ方針を取つてゐるから従つて實質的であり品質優良のものを買捌する事が出来る。この營業方針は釜屋經營もドツしりとしたものがあつて、最近石城地方にも弗々金物である。最後に一言したいのは商店の開業を見る様になつて幾守治氏及令弟元三郎氏が自ら店から釜屋商店の賣行に影響する員と伍して終日店頭に乘配を振るであらうと思はれるが、其つてゐる事である、であるから点に至つては些の影響が無いが、店員又は支配人級の高級店員でかりでなく同商店の品質は如何も處決する事の出来ぬ外交用談に堅實なものであるかといふ事は直ちに守治氏乃至元三郎氏が明になつたといふ話である。

一體同商店の品質が粗製かか粗悪かといふ商品が無く何れも健全にして實質的優良品が多いといふ事は全然委託販賣の方針をとりぬからである、委託販賣に依り營業方針はさうして商品も店頭を離れぬといふ事は又以ての撰擇といふことがなくなつて釜屋商店の儲けに意を得たる何んでも委託された商品を賣捌るものがある、それから店員の素する事になつて時には品質不良質が何れも實直な事である、この粗製粗悪の商品を取扱ふ様子は最初からさうした實直な者なる弊がある、此の点になる。

人氣を増した 鹽屋商店

平町に於ける二大商店の一として、鹽屋は元土橋の鹽屋吳服店跡を理想的に改築して、同商店の醸造たる醬油のみならず酒、水産物、罐詰其他の販賣を開始したが頗る人氣を集めて販賣率を高めてゐる、窓飾りなども常に研究を怠らぬ何時同商店の前を通つても清新な氣分を與へるものがある、殊にあの圖案と文句は清三氏夫人が自らものするから従つて實質的であり品質優良なものがある、全く素人離れをしたものがある、同店の店員の訓練がよく行き届いてゐる事は顧客に對するに極めて丁寧である、親切である事である、店主清三氏の如き常に新しき營業方針を樹て店員を指導するので何れも緊張した態度で立ち働いてゐる。

大黒屋と言へば平町に於ける最も常盤沿線の大小都會地に知られてゐる、同商店の店構へなものは大したもの、様には思はれないが、東京に製造所を設ける、かもし、すき毛、ヘーヤチツト等を製造して其販路が可成り擴大されてゐる、同店が平町よりも地方的に知られてゐる。

廉賣主義の 大黒屋

製造所を東京に設ける、かもし、すき毛、ヘーヤチツト等を製造して其販路が可成り擴大されてゐる、同店が平町よりも地方的に知られてゐる。

洋品店の權威 鶴屋

洋品店としては平町に於ける唯一の商店である、陳列法も亦大分良い感じを與へる様になつた、常に商品を豊富に取揃へ新鮮なものが多い、然し粗製なものも薄なものといふよりシツカリした品を賣るといふ方針である、店主も亦如才なく立働いてゐるが、店主は多く店頭に見ることが少い、品質の優良を撰んでゐる割合に安價で此の点が人氣を受ける原因となつてゐる、各炭礦方面から取引が多いといふのも同商店の信用程度の上を物語つてゐる譯である、唯同商店の位置が少し片寄り過ぎてゐる、假りに二丁目附近にあつたとしても、疑はれない同店のある顧客が話してゐた。

親切丁寧な
中野洋品店

鶴屋洋品店と並んで繁昌してゐる店に中野洋品店がある、實質主義を商標としてから大分信用を博してゐる、主人始め店員に至るまで商賣には極めて熱心である、店員を雇ふといふよりも

親切丁寧な
中野洋品店

鶴屋洋品店と並んで繁昌してゐる店に中野洋品店がある、實質主義を商標としてから大分信用を博してゐる、主人始め店員に至るまで商賣には極めて熱心である、店員を雇ふといふよりも

買好い店 仙臺屋吳服店

親切であり丁寧である、ボラスの方針で廉賣主義を取つてゐる、商業にはよりよきもので、極めて地方からの信用を享け地方から出掛ける人は多く同商店に足を向ける、店員も多く雇ふよりも家族の人々が店員になつて顧客を相手にするといふのでお客の方では却つて親みがけて買ひ好い氣になれると言つてゐる。

龜田屋 信用が厚い

もとは店頭に入ると土藏造りな事又平町に於ける唯一のもの、たけに何んとなく暗い感じを、改造して窓、社會的にも忙しい立場にあるに

右兩名解雇致候條自今本社と關係無之候

從て赤井嶽案内(小冊子發行も本社には何等關係無之候に付誤解なき様爲念併て社告候

大正十五年 六月十七日 磐城商工時報社

飾りなどにも氣を付ける様にな不拘、自ら店頭に座して店員に、つてから非常に軽い、明るい感混じつてお客様をなし、親切じがする様になつた、實質的であると噂を少しも失はない、ある点に於て他に劣らぬ、店主商品の捌け方が活潑であるから、虎雄氏は新人だけに營業方針に従つて品切れの場合が多くなる、にも常に研究し、如何にお客様に心を惹かせるか、如何にして不自由を懸けることの禮を失す、お客様の趣好に叶ふ商品を仕入れることを恐れ在庫品を豊富にし、べきか、如何にして品質優良品である、取引先よりの信用も厚く提供すべきかといふ点に没頭して従つて在庫品を豊富に取揃へ、してゐる、店頭を改築し窓飾りして置くことも出来る譯である、に腐心する様になつてから客足細い所にもよく注意と研究とが張る、虎雄氏の熱心と商賣にある、主催となつたポスター展覽會らしい、氏は平青年團長として出品した同商店のポスターが、社會的に活躍する立場にある一等であつたといふ事も要する

諸橋吳服店

新川町に於ける大商店として信用が篤い、同町に谷屋といふ吳服店があるが、諸橋吳服店の親切と丁寧と廉價と品質の優良な点から言つて押されてゐる様である、何んと言つても諸橋は谷屋の敵ではなく、諸橋吳服店には常にお客様が満員である、江名豊間、高久、飯野、鹿島方面の人々は何れも同商店を取引をしてゐる、お客様も亦同商店で買ひ物物は濱向き、農村向きの柄を取揃へ値段も安い、親切だから買好いのであると言つてゐる、若主人なども頗る氣軽な如才の無い人、店員も亦主人になつてお客様に對しては極めて愛嬌をもつて接してゐるのでお客様から大變喜ばれてゐる。

中野吳服店 販賣率の多い

大商店に於ける店員の數も多、商品等も豊富に取揃へ何れも熱心に立働いてゐる、同店では店員の慰安をする爲めに時々活動寫眞を見せてゐる、陳列法なども相當苦心し窓飾りも亦研究してゐる跡が見える、販賣率は平町に於ける多い方であらう。

中野吳服店
販賣率の多い

大商店に於ける店員の數も多、商品等も豊富に取揃へ何れも熱心に立働いてゐる、同店では店員の慰安をする爲めに時々活動寫眞を見せてゐる、陳列法なども相當苦心し窓飾りも亦研究してゐる跡が見える、販賣率は平町に於ける多い方であらう。

細心の注意と研究が怠らぬ證據であらう。

同氏の信用が、商人としてよく窺はれることだ。

販賣率の高い
三井吳服店

常に注意研究を怠らぬ

吳服店の權威をもつて鳴る三井吳服店は、凡らく縣下には珍らしい大商店である、従つて其販賣率の如何に大きいかといふことは税額の多いこと縣下隨一だといふことである、窓飾の最新もとは店頭に入ると土藏造りな事又平町に於ける唯一のもの、たけに何んとなく暗い感じを、改造して窓、社會的にも忙しい立場にあるに